

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業No	交付対象事業の名称	事業の概要（目的・効果）	事業開始年月	事業完了年月	総事業費（千円）	交付金充当経費（実績）（千円）	事業進捗	成果目標	実績・効果検証
1	町出身県外学生支援事業	コロナ禍による物価高騰に直面し、経済的に不安を感じている町出身の県外学生を支援する。	R4.7	R4.9	12,618	12,618	完了	町出身の県外学生等へ1人50,000円の支給を行う。	【実績】 支援者数 252人 支援総額 12,600,000円  【効果検証】 町出身の県外学生の経済的支援につながった。
2	防災活動支援事業	避難所運営等における、環境衛生及び新型コロナウイルス感染症予防対策の強化を図る。	R4.12	R5.3	963	900	完了	アルコール630L、ペーパータオル50箱の確保。	【実績】 アルコール240L相当ペーパータオル50箱使い捨てエプロン600枚等  【効果検証】 災害時等の避難所における感染拡大防止対策に備えることができた。
3	「おおかみこどもの雨と雪」10周年記念地方創生イベント～地方移住での子育て～	町出身の細田監督と監督の作品「おおかみこどもの雨と雪」の知名度を活用し、町の魅力を広く全国にPRするとともに、本作品公開10周年記念イベントの開催及びイベント会場をバスで周遊（日曜日、祝日限定）することで、町外から訪れるアニメファンと地域の交流を深めつつ、コロナ禍で求められている「地方分散型社会」における地方での暮らしや子育てを考える機会を創出し本町への移住促進、地域活性化を図る。	R4.4	R4.11	15,921	12,289	完了	イベント：来場者数延べ5,000人以上 バス：1日150名×8日間＝延べ1200人利用	【実績】 イベント期間 2022/7/23～9/4 来場者数 延べ10,701人 （内訳）西田美術館4,237人、花の家5,004人、バス利用者530人、記念イベント930人  【効果検証】 この企画での交流・関係人口は、延べ10,701人かつ約8割は町外在住者であり、地域活性化及び移住促進に繋がるきっかけを作ることができた。
4	移住促進PR事業	県内及び首都圏からの移住促進のため、新聞・雑誌を借って移住促進PRを実施する。また、ふるさと回帰支援センターへも移住者向けハンドブックやポスターを掲示し移住希望者へ直接PRを行いコロナ禍で求められている地方分散型社会及び地方経済活性化に繋げる。	R4.4	R4.8	5,157	5,050	完了	東京での移住イベント参加数 2回以上	【実績】 北日本新聞及び富山新聞（4/30朝刊）、北日本新聞フリーペーパーゼロニイ（5月号4/28発行）、北日本新聞子育てサイトconocoko（4/28配信） 同新聞conocotoプラス（7月号7/5以降県内全域小学校配付） （県外向け） 都民版読売新聞（7/9朝刊）、田舎暮らしの本（8月号7/1発売） ・ライフステージナラシ500部、移住者向け冊子250部 ・移住促進ポスター（B1）50枚 ・東京での移住イベント参加数…2回（7/23、11/20）  【効果検証】 ・県内及び県外（主に首都圏）への積極的な子育て施策の発信により、令和4年度の町の支援を受けた県外からの移住者数が35人と、前年の4.4倍に増えた。
5	移住HP（かみスイッチ）機能強化事業	移住専用HP内に、町HPの空き家バンク情報と連携しつつ、かつ、移住希望者がより分かりやすく、検索しやすい空き家情報を掲載し、コロナ禍で求められる地方分散型社会への移行及び地域経済の活性化に繋げる。	R4.5	R4.9	990	900	完了	空家バンクページのページビューの数200回以上（1ヶ月あたり）	【実績】 空家バンク掲載（令和4年9月）～令和5年3月末 10,894PV（ページビュー）、月平均1,556PV  【効果検証】 ・移住定住ポータルサイト「かみスイッチ」内に空家バンクを設けたことにより、移住希望者が空き家情報を得られやすくなった。 ・「10円空家バンク」情報を通常の空家バンクは別に掲載したことにより、空家内覧会への参加希望者が増えた。
6	高速バス応援事業	上市スマートICに令和4年春に高速バスが就行する。コロナ禍の影響で非常に大きい影響を受けている高速バス事業への応援と上市スマートICの周知・利用促進のため、上市スマートIC高速バス利用者に対して高速バス利用料金の半額支援を行う。	R4.4	R4.11	363	207	完了	助成額294千円（約120件利用）	【実績】 助成額1,108,325円（268件）  【効果検証】 ・町外の利用者が215件と全体の80%を占めており、特に町外への上市スマートICの周知及び利用促進を図る目的に貢献できた。 ・上市スマートIC高速バスの利用については、半額助成前は、1.1名/日（R4.4.29～R4.5.24）であったが、助成終了後は1.8名/日（+0.7名/日、R4.10月～R4.12月）と増加となり、広告効果はあったと言える。
7	児童インフルエンザ予防接種費用助成	季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時感染による医療現場の逼迫を避けるため、感染予防対策として小学生から高校生までのインフルエンザ予防接種費用を助成する。	R4.10	R5.3	2,864	898	完了	児童・生徒1,018人へのインフルエンザ予防接種を実施。	【実績】 対象児童数1,707人中665人に支給。  【効果検証】 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時感染の予防が図られた。
8	子育て応援事業	新型コロナウイルス感染症の不安を抱えながら過ごした妊婦に対し、子育てを応援すると共に家計への支援を行うため、おむつ購入券を支給する。	R4.4	R5.3	1,074	1,000	完了	新生児80人に対しおむつ券を交付。	【実績】 新生児81人に支給。  【効果検証】 子育て世帯への経済的な負担軽減が図られた。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業No.	交付対象事業の名称	事業の概要（目的・効果）	事業開始年月	事業完了年月	総事業費（千円）	交付金充当経費（実績）（千円）	事業進捗	成果目標	実績・効果検証
9	水道事業会計繰出事業	上下水道料金の支払いにコンビニ・スマホ収納を導入することでコロナ禍における住民の窓口での密集を避けるとともに利便性向上を図る。	R4.4	R5.3	5,230	5,230	完了	導入に伴い、3%程度コンビニ収納対応への移行を見込む。	【実績】 半年間の実施で、役場窓口での支払いが43%減少。 【効果検証】 窓口の混雑が解消され、特に年金日に支払うためにできていた行列がなくなった。
10	病院事業会計繰出事業	新型コロナウイルス感染症の感染リスクの高い医療機関での感染予防対策・感染拡大防止を図るため、消耗品費等を整備する。	R4.4	R5.3	13,200	13,200	完了	感染症対策を十分に行うことができる消耗品等13,200千円分の確保。	【実績】 マスク 54,500枚 除菌剤 480,500枚 検査用グローブ 525,500枚 手指消毒用ジェル 1,677個 プラスチックボード 102,000枚 等購入 【効果検証】 院内病棟で発生したクラスターを最小限に抑え、医療体制を維持することができ、収益の確保につなげた。
11	上市町プレミアム商品券	コロナ禍における地域経済の活性化と物価高騰の影響を受けている生活者支援を促すため、プレミアム商品券（7,000円分の商品券を5,000円で販売）22,000枚を発行する。	R4.6	R5.3	39,016	39,016	完了	販売数に対し95%の使用率を見込む。	【実績】 7,000円×22,000セットを完売。 各店舗からの引換率（使用率）は99.8%。 【効果検証】 使用率は想定95%を上回り、地域内での経済循環が生まれた。また、1セット7枚のうち、2枚を小規模店舗専用券として発行することで、商品券全体の46.9%が小規模店舗で利用された。
12	上市町プレミアム商品券（通常分）	コロナ禍における地域経済の活性化と生活者支援を促すため、プレミアム商品券（7,000円分の商品券を5,000円で販売）22,000枚を発行する。	R4.6	R5.3	10,890	10,890	完了	販売数に対し95%の使用率を見込む。	【実績】 7,000円×22,000セットを完売。 各店舗からの引換率（使用率）は99.8%。 【効果検証】 使用率は想定95%を上回り、地域内での経済循環が生まれた。また、1セット7枚のうち、2枚を小規模店舗専用券として発行することで、商品券全体の46.9%が小規模店舗で利用された。
13	わんぱく広場感染症対策事業（まちなか交流プラザ）	子どもたちの遊び場であるわんぱく広場（まちなか交流プラザ）の新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、指定管理料を上乗せする。	R4.4	R5.3	2,013	2,000	完了	感染症対策を十分に行うことができるよう、1名人員を配置する。	【実績】 清掃員として1名を毎日（年末年始を除く。）午前10時から午後3時までの間配置し、施設の利用前後及び昼間における消毒を実施するとともに、利用者に対する検温・消毒の徹底、密集監視を行った。 【効果検証】 施設及び利用者の感染対策を適切に行うことにより、安心して施設を利用することができる環境づくりに寄与した。
14	公共的空間安全・安心確保事業	コロナ禍において、公共施設等における感染機会を削減するためトイレ洋式化ウォシュレット化、自動センサー化等を行うことにより、公共空間の安全・安心の確保を図る。	R4.7	R5.3	9,416	9,400	完了	トイレ洋式化10箇所、ウォシュレット化5箇所、自動センサー9箇所。	【実績】 トイレ洋式化、ウォシュレット化、自動センサー化 11箇所 【効果検証】 感染症対策により安全安心な非接触型の環境を整備し、感染拡大防止対策が図られた。
15	ICT支援員委託業務	コロナ禍において、GIGAスクール構想の実現事業で整備した高速大容量通信ネットワーク環境及び1人1台端末、また併せて整備した授業支援システム等のソフトウェアの活用するにあたり、教職員のICT活用をサポートするためICT支援員を配置する。	R4.4	R5.3	12,760	12,760	完了	教職員が十分にICT活用を行えるよう2名で7校/週を巡回する。	【実績】 ICT支援員2名で7校/週で巡回。 【効果検証】 ICT機器の不具合対応・ソフトウェア更新等の支援が多かったが、教職員のICT機器の操作指導・研修に関する支援も増えてきており、教職員がICT環境を有効に活用するようになった。
16	支援教員配置事業	新型コロナウイルス感染症による学校の臨時休校後、学習に遅れが見える児童・生徒に対し、支援教員による個別指導を行う。	R4.4	R5.3	4,961	4,700	完了	児童・生徒へ個別に指導を行うため、支援教員を1名配置	【実績】 支援教員を1名配置。 【効果検証】 上市町教育センターに支援教員を配置することで、コロナの影響により学習の遅れが見える児童・生徒への個別指導を行うことができた。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業 No.	交付対象事業 の名称	事業の概要（目的・効果）	事業 開始年月	事業 完了年月	総事業費 （千円）	交付金充当 経費（実 績）（千 円）	事業進捗	成果目標	実績・効果検証
17	小中学校情報 環境整備事業	コロナ禍において、GIGAスクール構想の推進のため必要な教師用タブレット端末等の整備を行う。	R4.7	R4.8	5,813	5,600	完了	タブレット端末40台の整備	【実績】 小学校：34台 中学校：6台  【効果検証】 教師用タブレットの整備をすることにより、ICT環境を活用した指導ができるようになった。
18	ICT支援環境 整備事業	コロナ禍において、今後のオンライン授業等に備えるため指導者用デジタル教科書ソフトを購入する。	R4.9	R4.9	1,059	1,000	完了	全小中学校に国語のデジタル教科書を導入。	【実績】 指導者用デジタル教科書（国語）購入 小学校6校×6学年 中学校1校×3学年  【効果検証】 指導者用デジタル教科書を購入により、今後のオンライン授業等を見据えた指導方法の研究等を行った。
19	学校健診感染 防止対策事業	小中学校における学校健診に伴う新型コロナウイルス感染症感染防止対策として保健衛生用品を整備する。	R5.3	R5.3	254	250	完了	消毒液217L、アルコール綿1,800枚、ゴーグル10個、ニトリル手袋グローブ4,250枚、ハンドジェル650、手指消毒液650、使い捨てマスク1,650枚、舌圧子500枚、フェイスシールド100枚、使い捨てガウン80枚	【実績】 アルコール含浸綿1,800枚、 ゴーグル10個、ニトリル手袋グローブ 4,250枚、ハンドジェル650、手指消毒 液650、使い捨てマスク1,650枚、舌圧 子500枚、フェイスシールド100枚、使 い捨てガウン80枚  【効果検証】 感染症対策消耗品等により校内の安全 安心な環境を整備し、感染拡大防止対 策が図られた。
20	密集軽減のた めのスクール バス輸送能力 増強事業	コロナ禍における車内での感染対策としてバスを増便し、密集を回避する。	R4.4	R4.9	168	168	完了	平日の登校時間帯で1日1便の増便を行う。	【実績】 弓庄線利用児童25名のうち半数が増便 を利用。 令和4年4月6日～9月2日まで運 用。  【効果検証】 25名のうち半数は増便分の車両を利用 することにより車内での三密を回避し 感染症対策に資することができた。
21	水田農業経営 緊急支援事業	コロナ禍において、令和3年度産米の米価下落による令和4年度産米作付けに係る負担増及び資材費（肥料等）の価格高騰の影響を受けている農業者に1,500円/10aを交付する。（対象面積は、令和4年度細目書の作付面積を基準とする。）	R4.7	R5.2	14,483	14,435	完了	地域農業振興計画（JAアルプス策定）における水稲等作付面積の目標（960ha）を達成する。	【実績】 対象経営体：517経営体 補助金額（総額）：14,146,230円  【効果検証】 水稲等作付農家に対しての経営支援を 行ったことで、肥料高騰の影響の軽減 が図られた。
22	畜産経営緊急 支援事業	コロナ禍において、飼料費の価格高騰に影響を受けている畜産農家に対し、飼料費（配合飼料等の購入経費）に対する補助を行う。	R4.4	R5.3	6,499	6,400	完了	畜産農家数（3経営体）を維持する。	【実績】 対象経営体：3経営体 補助金額（総額）：6,499,300円  【効果検証】 畜産農家に対しての経営支援を行った ことで、飼料費高騰の影響が軽減され、 経営維持につなげることができた。
23	学校給食費助 成事業（通常 分）	コロナ禍及び物価高騰等により経済的影響を大きく受けている子育て世帯の負担軽減のため、2学期以降の小・中学生の給食費を減免するもの。	R4.9	R5.3	18,044	18,011	完了	小中学生1,030名分の2、3学期給食費保護者負担分を減免することで経済的な支援を行う。	【実績】 児童生徒延べ7,006名に支援することが できた。  【効果検証】 子育て世帯への経済的な負担軽減が図 られた。
24	未就学児育 て世帯支援事 業	コロナ禍及び物価高騰等により経済的影響を大きく受けている子育て世帯の負担軽減のため、未就学児に対し40,000円/人の支給を行う。	R4.12	R5.3	25,176	23,160	完了	未就学児世帯に対し40,000円/人の支援金を支給し、経済的支援を行う。	【実績】 対象児童数628人中628人に支給。  【効果検証】 子育て世帯への経済的な負担軽減が図 られた。
25	学校保健特別 対策事業費補 助金	（学校等における感染症対策等支援事業） 小中学校における感染症対策の徹底やコロナ禍における、必要な感染症対策消耗品、備品を購入する。	R4.4	R5.3	7,414	3,600	完了	町内小中学校において感染症対策を十分に行うことができる消耗品2140千円分、備品5,060千円分の整備。	【実績】 小中学校消耗品：2,239千円 小中学校備品：6,432千円  【効果検証】 感染症対策で大量に使用する消耗品、 換気対策等の備品等を購入し、学校の 感染症対策に資することができた。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業No.	交付対象事業の名称	事業の概要（目的・効果）	事業開始年月	事業完了年月	総事業費（千円）	交付金充当経費（実績）（千円）	事業進捗	成果目標	実績・効果検証
26	「おおかみこどもの雨と雪」10周年記念地方創生イベント～地方移住での子育て～（補正分）	町出身の細田監督と監督の作品「おおかみこどもの雨と雪」の知名度を活用し、町の魅力を広く全国にPRするとともに、本作品公開10周年記念イベントの開催及びイベント会場をバスで周遊（日曜日、祝日限定）することで、町外から訪れるアニメファンと地域の交流を深めつつ、コロナ禍で求められている「地方分散型社会」における地方での暮らしや子育てを考える機会を創出し本町への移住促進、地域活性化を図る。	R4.4	R4.11	3,196	3,196	完了	イベント：来場者数延べ5,000人以上 バス：1日150名×8日間＝延べ1200人利用	【実績】 イベント期間 2022/7/23～9/4 来場者数 延べ10,701人 （内訳）西田美術館4,237人、花の家5,004人、バス利用者530人、記念イベント930人 【効果検証】 この企画での交流・関係人口は、延べ10,701人かつ約8割は町外在住者であり、地域活性化及び移住促進に繋がるきっかけを作ることができた。
27	高速バス応援事業（補正分）	上市スマートICに令和4年春に高速バスが就行する。コロナ禍の影響で非常に大きい影響を受けている高速バス事業への応援と上市スマートICの周知・利用促進のため、上市スマートIC高速バス停利用者に対して高速バス利用料金の半額支援を行う。	R4.4	R4.11	814	403	完了	助成額1,083千円（約442件利用）	【実績】 助成額1,108,325円（268件） 【効果検証】 ・町外の利用者が215件と全体の80%を占めており、特に町外への上市スマートICの周知及び利用促進を図る目的に貢献できた。 ・上市スマートIC高速バス停の利用については、半額助成前は、1.1名/日（R4.4.29～R4.5.24）であったが、助成終了後は1.8名/日（+0.7名/日、R4.10月～R4.12月）と増加となり、広告効果はあったと言える。
28	公共交通等燃料価格高騰対策支援事業（鉄道事業）	コロナ禍において、エネルギー価格高騰の影響を受けながらも運行継続する鉄道事業者に対して補助金を交付する。	R4.4	R5.3	3,161	3,000	完了	価格高騰による事業中断0件	【実績】 高山地方鉄道への補助金 3,161,000円 【効果検証】 燃料高騰の中でも安定した鉄道運営を続け、事業の中断はなかった。
29	公共交通等燃料価格高騰対策支援事業（タクシー事業者）	コロナ禍において、エネルギー価格高騰の影響を受けながらも運行継続するタクシー事業者に対して補助金を交付する。	R4.4	R5.3	601	600	完了	価格高騰による事業中断0件	【実績】 タクシー事業者2社への補助金 871,100円 【効果検証】 タクシー事業者の燃料高騰による負担軽減と事業の継続が図られた。
30	福祉燃料券交付事業	コロナ禍における、原油価格等の物価の高騰の影響を受けた高齢者単身世帯に燃料券を交付する。	R4.10	R5.2	12,067	11,170	完了	65歳以上のみの方で構成される世帯で構成される全世帯へ燃料券を送付。	【実績】 交付内容：交付世帯5,000円×2,598世帯 交付額 12,990千円① 実績内容：使用世帯2,161世帯 使用額 10,640千円② 使用率②/①：81.9% 【効果検証】 町内店舗でガソリン及び灯油の購入に利用できる券を送付し、使用率が冬期3カ月間で81.9%に上がった。
31	公共的空間安全・安心確保事業（補正分）	コロナ禍において、熱中症予防や寒さに対応しながら施設の換気を行うことができるよう公共施設の空調設備等を増設及び更新するもの	R4.11	R5.2	3,443	3,300	完了	空調設備 増設2基、更新2基	【実績】 空調設備 2基増設、2基更新 【効果検証】 空気清浄機能付きの設備に更新することにより感染症対策が図られ、安全・安心の確保につながった。
32	上市町エネルギー価格高騰事業者支援事業	コロナ禍において、中小企業に対しエネルギー価格高騰の影響緩和を目的とし支援金を支給する。	R4.11	R5.1	48,838	48,837	完了	町内事業者のうち約30事業者程度への支援金の支給を見込む。	【実績】 町内に事業所を有する中小企業29社に対し、電気、ガス、重油等のエネルギー価格（事業用）の高騰に係る支援を実施した。 【効果検証】 支援対象者を一定規模の影響があった事業者に限定したことにより、予算の範囲内で集中的に支援を行うことができた。
33	児童館感染症対策事業	コロナ禍において、感染症対策を実施するため児童館で使用する感染症対策消耗品等を購入する。	R4.4	R5.1	1,136	1,000	完了	4施設において新型コロナウイルス感染症対策消耗品等を整備	【実績】 児童館4箇所中4箇所に消耗品等を整備。 【効果検証】 感染症対策消耗品等により安全安心な環境を整備し、感染拡大防止対策が図られた。
34	上市町立中学校修学旅行等キャンセル料補助金	修学旅行において、新型コロナウイルス感染症拡大により生じた、かかり増し経費について、保護者及び教職員の経済的負担を軽減するため補助する。	R4.4	R5.2	261	217	完了	生徒119人、先生10人のかかり増し経費を負担する	【実績】 補助金額261,209円 【効果検証】 欠席者増加による経費負担を生徒・教員にかけることなく抑制できた。また、欠席した養護教諭に代わり、看護師の配置も行えたので、参加生徒・教員が安全・安心できる環境を整備することにつながった。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業 N o	交付対象事業 の名称	事業の概要（目的・効果）	事業 開始年月	事業 完了年月	総事業費 （千円）	交付金充当 経費（実 績）（千 円）	事業進捗	成果目標	実績・効果検証
35	水道事業会計 繰出事業（重 点交付金分）	コロナ禍における、電気料価格高騰の影響緩和を目的として値上がり相当分を繰出す。	R4.4	R5.3	2,120	2,120	完了	事業経費を軽減し、 値上げ抑制の一助と する。 （水道事業会計へ 2,120千円を繰出す）	【実績】 4月から12月までの電気料金の増額分 に充当。（2,120千円）  【効果検証】 R4年度の収支悪化見込が若干緩和され たことにより、料金値上げの抑制の一 助となった。
36	教育現場情報 発信整備事業	新型コロナウイルス感染症の予防上の必要により、臨時 休校や職員の勤務に制限が生じた場合においても、必要 な情報を適切に発信できるようにするもの。	R5.1	R5.3	3,558	3,500	完了	小学校6校、中学校 1校において、教育 安全メールシステム 及びホームページ システムの構築による 情報発信環境の向上 を図る	【実績】 教育安全メール及びホームページシ ステムの構築を令和5年3月に完了。  【効果検証】 教育安全メール・ホームページ共に学 校がからも登録・更新が可能になった ので必要な情報の発信等を迅速に更新 することが可能となった。また、資料 を添付できるための紙の使用量を削減す ることができた。
37	農業者経営緊 急支援事業	コロナ禍において、令和4年産大麦、大豆、ハトムギ、 ソバ作付けに係る負担増及び資材費（肥料等）の価格高 騰の影響を受けている農業者に800円/10aを交付する。 （対象面積は、令和4年細目書の作付面積を基準とす る。）	R4.12	R5.2	934	920	完了	地域農業振興計画 （JAアルプス策 定）等における対象 農作物作付面積の目 標（計818ha）を達成 する。	【実績】 対象経営体：延べ25経営体 補助金額（総額）：913,152円  【効果検証】 大麦等作付農家に対して経営支援を 行ったことで、肥料高騰の影響の軽減 が図られた。
38	上市町エネル ギー価格高騰 事業者支援事 業（中小企業 除く）	コロナ禍において、企業等に対しエネルギー価格高騰の 影響緩和を目的とし支援金を支給する。（中小企業除 く）	R4.11	R5.2	12,105	12,105	完了	町内事業者のうち5事 業者への支援金の支 給を見込む。	【実績】 町内に存する福祉施設及び中小企業以 外の企業10者に対し、電気、ガス、重 油等のエネルギー価格（事業用）の高 騰に係る支援を実施した。  【効果検証】 支援対象者を一定規模の影響があった 事業者に限定したことにより、予算の 範囲内で集中的に支援を行うことがで きた。
39	水道事業会計 繰出事業（補 正分）	上下水道料金の支払いにコンビニ・スマホ収納を導入す ることでコロナ禍における住民の窓口での密集を避け るとともに利便性向上を図る。	R4.4	R5.3	1,840	1,840	完了	導入に伴い、3%程度 コンビニ収納対応へ の移行を見込む。	【実績】 半年間の実施で、役場窓口での支払い が43%減少した。  【効果検証】 窓口の混雑が解消され、特に年金日に 支払うためにできていた行列がなくな った。
40	地域少子化対 策重点推進交 付金	コロナ禍において子育て世帯を支援するため、地域少子 化対策重点推進交付金事業費の地方負担分に充当（国 1/2、町1/2）	R4.4	R5.3	2,546	1,102	完了	・令和5年2月～子 育て支援サイトを開 設、運営 ・令和4年10月から アプリを使用して子 育て情報を発 ・ハバママ教室を実 施	【実績】 ・出産・育児支援サイトの開設 ・子育て支援アプリ導入（電子母子健 康手帳、地域の子育て情報の配信、子 育て関連動画の作成・配信） ・ハバママ教室の開催  【効果検証】 子育て支援情報を一元化することによ り、情報検索及び情報取得が手軽にで きるようにした。また、必要な情報を 必要な人にわかりやすく提供できるよ うアプリにプッシュ通知機能を搭載し た。
41	子ども・子育て 支援交付金	（新型コロナウイルス感染症対策支援事業） 子ども・子育て支援交付金（新型コロナウイルス感染症 対策支援事業）事業費の地方負担分に充当（国1/3、県 1/3、町1/3）	R4.8	R5.3	4,556	1,000	完了	民間保育所4施設。民 間認定こども園2施設 での新型コロナウイ ルス感染症対策支援 を実施	【実績】 民間保育所3ヶ所、民間認定こども園 2ヶ所  【効果検証】 感染症対策消耗品等により安全安心な 環境を整備し、感染拡大防止対策が図 られた。
42	保育対策総合 支援事業費補 助金	（保育環境改善等事業（新型コロナウイルス感染症対策 支援事業）） （保育所等業務効率化推進事業（保育所等におけるICT化 推進等事業）） 保育対策総合支援事業費補助金事業費の地方負担分に充 当	R4.8	R5.3	5,283	2,000	完了	感染症対策事業：民 間保育所6施設、民間 認定こども園2施設、 公立保育所2施設での 感染症対策消耗品等 の整備  ICT化推進事業：2保 育所でのICT環境整備	（保育環境改善等事業（新型コロナウ イルス感染症対策支援事業）） 【実績】 公立保育所2ヶ所、民間保育所6ヶ 所、民間認定こども園2ヶ所に導入。  【効果検証】 感染症対策消耗品等により安全安心な 環境を整備し、感染拡大防止対策が図 られた。  （保育所等業務効率化推進事業（保育 所等におけるICT化推進等事業）） 【実績】 公立保育所2ヶ所に導入。  【効果検証】 登壇園管理、保健記録、保護者との連 絡等の保育業務の効率化が図られた。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施状況及び効果検証

事業 No.	交付対象事業 の名称	事業の概要（目的・効果）	事業 開始年月	事業 完了年月	総事業費 （千円）	交付金充当 経費（実 績）（千 円）	事業進捗	成果目標	実績・効果検証
43	学校保健特別 対策事業費補 助金	（学校等における感染症対策等支援事業） 学校保健特別対策事業費補助金の地方負担分に充当	R4.12	R5.3	1,257	560	完了	町内小中学校において感染症対策を十分に行うことができる備品500千円分の整備。	【実績】 小中学校消耗品：2,239千円 小中学校備品：6,432千円  【効果検証】 感染症対策で大量に使用する消耗品、換気対策等の備品等を購入し、学校の感染症対策に資することができた。
44									
45	学校給食費助 成事業（重点 交付金分）	コロナ禍及び物価高騰等により経済的影響を大きく受けている子育て世帯の負担軽減のため、2学期以降の小・中学生の給食費を減免するもの。	R4.9	R5.3	10,989	10,989	完了	小中学生1,030名分の2、3学期給食費保護者負担分を減免することで経済的な支援を行う。	【実績】 児童生徒延べ7,006名に支援することができた  【効果検証】 子育て世帯への経済的な負担軽減が図られた。